

# TUST

TEIKYO University of Science & Technology



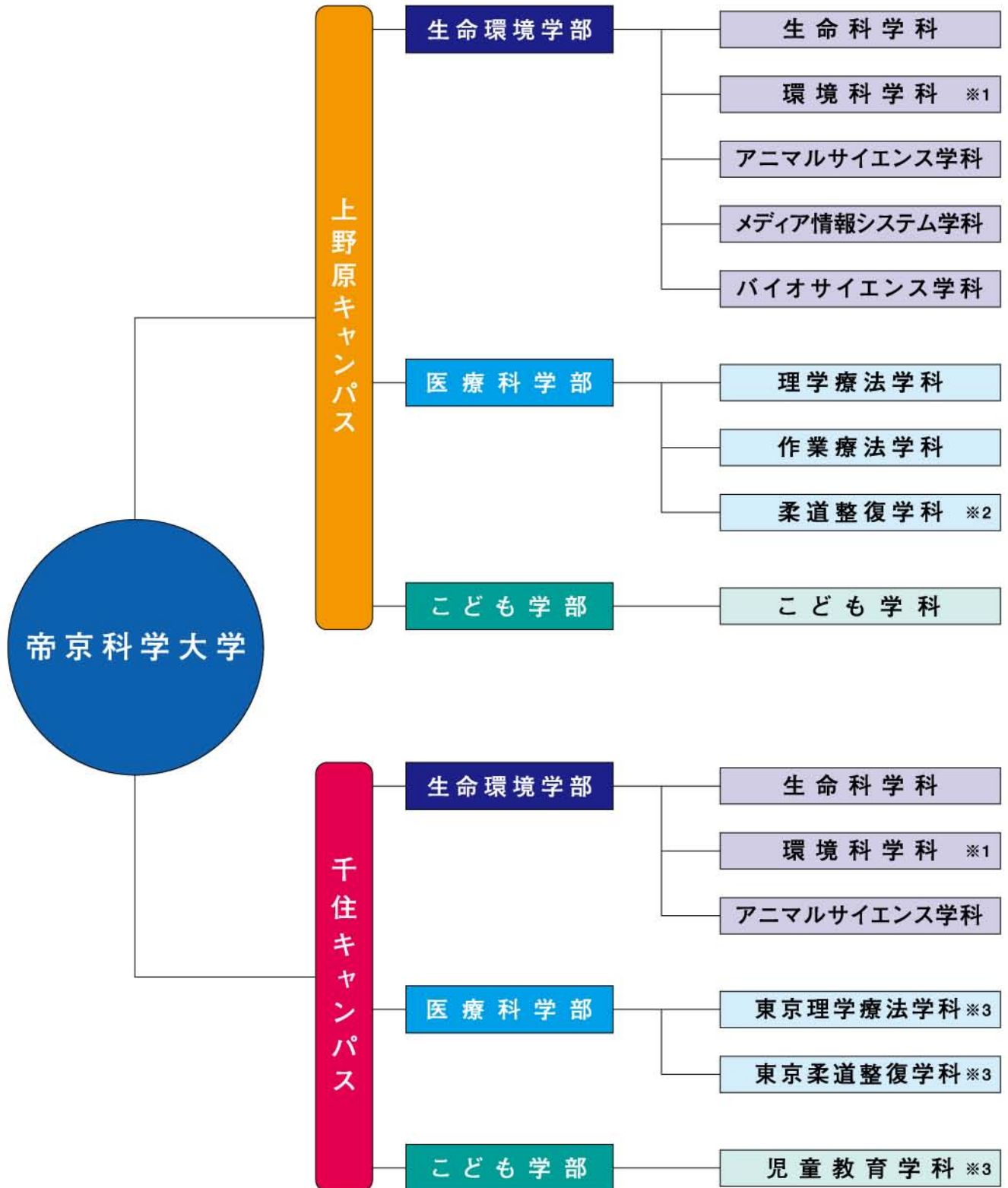
(千住キャンパス本館棟完成予想図)

## 2009 TUSTニューズレター 第21号

### トピックス

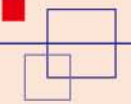
- 各学科教育活動 . . . . . P 2～5
- 学生活動状況 (サークル活動、大学祭、卒業生の近況、就職状況) . . . P 6～8
- 千住キャンパス平成22年度開設予定 . . . . . P 9
- 新任教員紹介 . . . . . P 10
- 公開講座予定 . . . . . P 11

◆◆◆ 帝京科学大学教育研究組織 ◆◆◆



※1:平成22年度より「自然環境学科」に学科名称変更  
※2:2年次より山梨市キャンパス  
※3:平成22年4月開設予定





## 生命科学科

学科長 松岡 浩

生命科学科は、バイオテクノロジーの実践的スペシャリストを育てる生命コース、ヒトの健康そのものに取り組み、その仕組みを理解する健康コース、臨床工学技士を養成する臨床工学コースからなり、コースに応じた教育・研究体制を整えています。

生命コース2年前期では、少人数で各研究室を回る「生命科学導入実験」を行います。さらに、2年後期の「生命科学基礎実験」、3年前期の「生命科学実験」を行うことにより、卒業研究への橋渡しをいたします。健康コース、臨床工学コースも同じく、2年生からは本格的な専門実験が始まります。

本学科は、来年4月からダブルキャンパスになりますが、健康コース、臨床工学コースは千住キャンパスのみの募集となります。



学生実験室

満開の桜の下での  
バーベキュー



## メディア情報システム学科

学科長 永沼 充

メディア情報システム学科には現在3、4年次生が在学しています。平成20年度に募集停止したため1、2年生はいませんが、臨床工学コースの専門教育は新たにできた生命科学科のコースの一つとして受け継がれています。来春社会に巣立つ1期生の諸君は渋谷区の帝京短期大学の専攻科にて4年次の履修科目である医学系の講義と実習を受けながら国家試験に向けて準備中です（写真）。大学卒業と同時に医療技術者として社会に役立てるよう学科も応援しています。

ロボット技術に関しては、構成を学んで簡単なシステムを製作することから市販のロボットの教育・医療への応用まで、さまざまな教育研究活動がおこなわれています。6月開催の第5回KHRアニバーサリー自律ビーチフラッグ学生部門での優勝など、サイズは小さくとも本学科は身の丈の技術で健闘しているといっただいでしょう（写真）。こうした成果は教員のサポートのもと学生が自分たちの力で頑張った努力が実を結んだもので、教育の一環としてロボットを捉えるという学科の姿勢が開花しています。



臨床工学  
コース  
4年生の  
実習風景

優勝した  
中山君と  
ロボット  
E.D.I.



## バイオサイエンス学科

学科長 松岡 浩

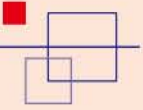
21世紀は生命科学の時代と言われ、再生医療や遺伝子治療など、以前は夢と思われた技術が現実となる時代を迎えています。さらには、医療、福祉、食生活、環境などあらゆる面で、生命を科学的にとらえ、広い意味で「生命現象」を解き明かして社会に還元することがますます求められています。

この流れに沿って本学科は拡大改組され、平成20年度から生命科学科の一部となりました。本学科もあと2年になりましたが、生命科学における社会的ニーズはいささかも変わってはならず、本学科の精神は生命科学科に受け継がれています。



バイオサイエンス専門実験





## 環境科学科

学科長 栗林 清

平成20年度に、春休み期間を利用した「小笠原諸島父島への実習」と夏休み期間を利用した「サルカメ実習」がカリキュラムに新設されました。前回「小笠原諸島父島への実習」について書きましたので、今回は「サルカメ実習」について書きます。「サルカメ実習」では約40名の学生が、京都府嵐山の岩田山モンキーパークで野生ニホンザルの生態と個体追跡法をモンキーパーク職員からの講義により学び、また和歌山県みなべ町ではウミガメの産卵上陸を観察し、日本ウミガメ協議会講師による講義を受けました。学生の勉学意欲も高く、有意義な実習となりました。



間近からサルを観察して生態を調べます



カメについての講義を受け、知識が深まりました

## アニマルサイエンス学科

学科長 石田 おさむ

動物を飼育する、野生動物を研究する、コンパニオンアニマルなどの福祉を考え、看護する、動物を活用してセラピーを行う、以上の4つを柱として学習態勢を整えています。

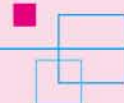
平成19年度からは、海外実習を取り入れ、これまでオーストラリアの動物看護、セラピー、障害者乗馬などを学んできましたが、平成21年度にはボルネオなどの野生動物の研究なども実施する予定です。また小笠原や金華山への野外実習はすっかり定着しています。

馬場では障害者乗馬のための講義や実習も始まりましたし、ヤギの飼育も今年からはじまり、動物との豊かな接触の場を作りだしています。インタープリター要請のためのワークショップも7月に開催し、教育領域を広げています。



オーストラリア実習の1シーン  
ランピン野生動物  
サンクチュアリの前で





## 理学療法学科

学科長 高橋高治

理学療法学科は3期生より定員を増やし83名を迎えました。医療科学部棟もにぎわいを増してきました。3年生は授業もほとんどが専門科目となり11月16日から始まる4週間の評価実習に向けて毎日遅くまで自主学習に励んでいます。この実習は、病院や施設に出向いて行われます。直接患者様に接し問診から諸検査を実施して障害像を分析、さらに治療手段を決定するという難関です。学生にとっても、大学にとっても、そして実習施設の指導者にとっても、初めての帝京科学大学の実習です。教員一同、子を旅に出す親の心境で指導に当たっています。



実習に向けた学習で忙しくなってきました

## 作業療法学科

学科長 三上 真弘

昨年、作業療法学科がスタートし、今年は多くの学生を迎え賑やかになりました。作業療法は、私達が普段の生活で行う活動を分析し、それらの活動を用いて、健康の回復や維持を進める治療法です。事故や病気で、身体や精神に障害をもつだけでなく、自閉症や学習障害などの子供やお年寄りなど、生活に困難を感じるあらゆる層の人びとが「いきいきと生活すること」を援助する仕事です。本学では、豊富な選択科目、幅広い臨床経験をもつ作業療法士や医師の教育陣の基で、豊かな人間性を持つ作業療法士を育みます。



2年生が主催した新入生の歓迎会



基礎作業学実習で機織りを行う1年生



## 柔道整復学科 スタート!

### 柔道整復学科

学科長 小野澤昭雄

私ども柔道整復学科は本年4月に開設された新しい学科です。今年度の入学者は5名（男子3名・女子2名）と、やや淋しいスタートとなりましたが、さいわい教員と学生との距離が近くなり、活発な交流が交わされています。

1年生の多くが初めて学ぶ基礎医学や臨床医学の内容に戸惑い、一時的に学習意欲が低下した時期もありましたが、教員が毎週2回の補習授業を実施した結果、徐々に学習にも慣れてきたようです。最近では表情にもゆとりが表れ、6月21日（日）に行われたオープンキャンパスでは積極的に参加して手伝ってくれるなど、学科のために力を貸してくれました。

当学科では2年次以降、山梨市キャンパスで学ぶこととなります。山梨市キャンパスは中央本線山梨市駅からすぐの場所にあり。現在、来春の開校に向けて準備中ですが、スタート時には最新の研究設備を擁する全国でも有数の柔道整復学科となる予定です。

当学科では柔道整復が医療福祉分野の一端を担う以上、人に対する思いやりの心を持つ、礼節をわきまえる、生涯学習を続けること等の重要性を学生たちに伝え、よりよい柔道整復師の育成に力を入れてゆきたいと考えています。



フレッシュセミナーが終わって開放感いっぱいの学生たち

### こども学科

大沢 裕

こども学部こども学科は昨年4月の開設以来、一貫して学科の教育目的である「幼少期の子どもに、命の温もり、自然の美しさ、不思議さを伝え、豊かな子ども文化の創造に貢献できる人材を育成する」ことを目指して邁進してきました。

2年生まで在学する現在は、授業の種類も豊富になり、学生たちは学業の一環として幼稚園や保育園の現場に行き、子どもと実際に触れ合う機会に多く恵まれ、充実した大学生活を送っています。

本学科は比較的小規模（定員50名）なため、どの教員もすべての学生の名前を覚えて1人1人を呼ぶことができます。こうした1人1人の顔が見えるアットホームな特徴を生かしつつ、学科の教員が一丸となって、今後も幼児保育・教育のエキスパートを育てていきたいと思ひます。

### 「動物・ロボット介在教育演習」における一般保育体験実習の様子



リズム遊びの体験



豊かな自然の中でお散歩体験

演習協力：上野原市立甲東保育所



## ◆◆◆ 学生の活動・サークル紹介 ◆◆◆

### 環境教育ボランティアサークル『風の子フ～スケ』 ～地域の人と地域の自然を結ぶ～

アニマルサイエンス学科3年 山地 正悟

身近なところで野生動物の生活を垣間見ることができる上野原。僕たち風の子フ～スケは、そんな上野原に広がる豊かな自然の中で活動しています。

「自然を守るためにはどうすればいいのだろう…」そんな問いに僕たちは、「色々な人に自然を好きになってもらおう！」という答えを導き出しました。『好き』なものを守りたい気持ちは誰でも持っています。自然や野生動物を大切に思う気持ちを少しでも沢山のの人に持ってほしい、自然や野生動物の魅力を知ってほしい。そんな想いを知ってもらうため、風の子フ～スケでは「自然体験活動」を軸に活動しています。

フ～スケで行なっている自然体験活動では、主に地域の小学生や親子を対象に自然観察会を開き、身近な自然へ連れ出し、そこで生活している生き物の生活や生態を紹介したり、生き物を見つけるための自然を観る視点などを、活動を通して参加者の人知ってもらっています。また、自然観察会をフ～スケメンバー自身が企画や運営することで、参加者の方に僕たちの想いをより伝えられるようになるのではないのでしょうか。



上野原小学校の裏山で生き物探し  
自然があればそこがフ～スケの活動場所です



川での自然観察会  
水生昆虫や魚を探しながら、水遊びも

## ◆◆◆ 科大祭 ◆◆◆

### 平成21年度 第19回帝京科学大学大学祭 今年も開催します「科大祭」!!

大学祭実行委員会委員長 アニマルサイエンス学科2年 半田真唯

「科大祭」とは、本学の一大イベントでもある毎年秋に行われる帝京科学大学の大学祭です。昨年度のテーマは「チカラ」。学生一人ひとりが持つチカラを発揮し、地域を活性化させるという目的のもと行われました。

オープニングでは、みんなでカウントダウンをしてゼロと同時に実行委員の思いが詰まった幸運のチョコをばら撒きました。そして毎年好評の「ミスコン」「カマコン」に加え、沢山の参加者によるステージパフォーマンスと40～50の模擬店や展示で大変な盛り上がりを見せました。そして後夜祭では点火式を始め、燃え盛る炎を囲んでのもちつき大会や打ち上げた花火など、熱く楽しいひとりで終わりを告げることが出来ました。

さて、今年度のテーマは笑顔溢れる大学祭にし、大学祭から笑顔を広げて沢山の人の幸せにしようという目的から「smile」に決定いたしました!

今年の科大祭は10月10日(土)、11日(日)に開催いたしますので、沢山の企画を御用意し皆様の御来場、御参加を心よりお待ちしております。そして、温かい笑顔をお持ち帰りください!



みんなでの集合写真  
科大祭が終わり満面の笑みでパシャリ☆



後夜祭の写真  
後夜祭でも盛り上がりは納まりません



## ◆◆◆ 卒業生の近況 ◆◆◆

帝京科学大学 環境科学科 野崎直俊

(物質工学科 平成7年3月卒業、マテリアルズ専攻 平成9年3月修了)

私は平成9年3月に本学大学院マテリアルズ専攻修士課程を修了し、現在母校の帝京科学大学に勤務しております。教養課程にあたる基礎科学実験の物理を担当していて、後輩たちの学生実験の指導にあたっております。

学生時代には、冶金で世界的に有名な堂山昌男先生の下で研究をすることが出来ました。さらに学部4年生で研究室に配属された私は外研として松下技研で卒業研究を行うことになりました。研究所では、大学での座学とは違い実にさまざまなことを教わりました。それは研究のことにとどまらず、自分の価値観や世界観に大きな影響があったと思います。

卒業して12年が経ちますが、毎年毎年新しい後輩たちが入ってきて、そのたびに新鮮な気持ちになることが出来てとても楽しく思います。学生の皆さんも機会があればさまざまな所へ出掛け、学び、遊び、見聞を広めてください。



恩師の堂山昌男名誉教授(右)と



学生に実験装置の使い方を指導しています

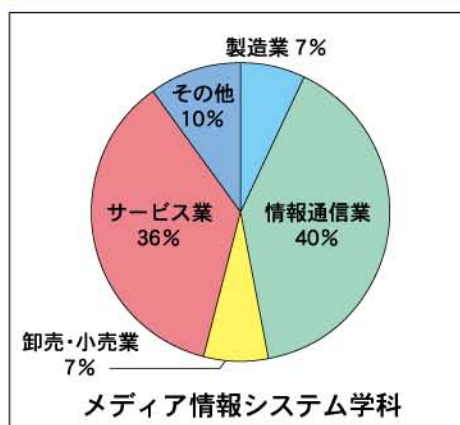
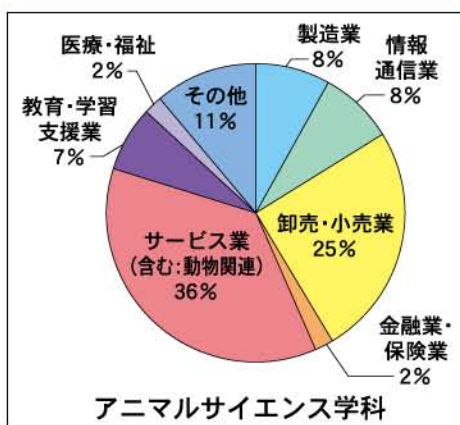
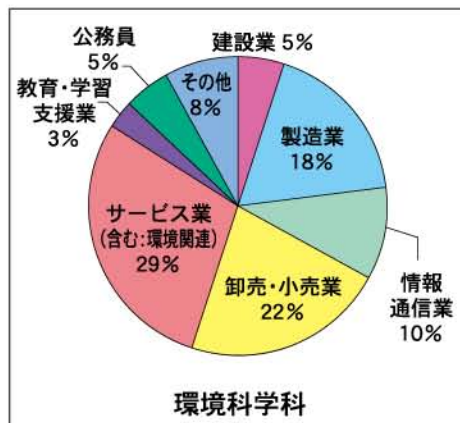
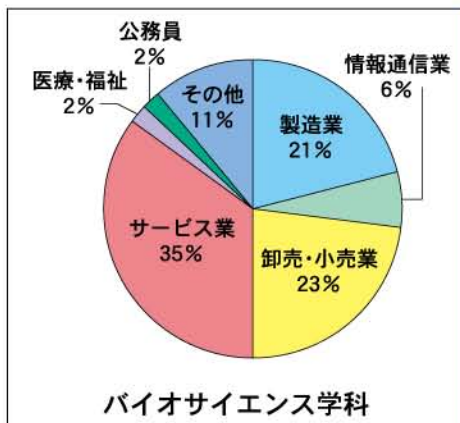


## ◆◆◆ 就職状況 ◆◆◆

### 就職事務室

就職事務室では、就職ガイダンス(3年次3回実施)をはじめ、4年次には学内で企業合同説明会を開催するとともに、公務員対策講座、SPI試験対策、就職模擬試験、マナー講座などの各種講座を開催して幅広い就職支援を行なっています。現在、学生はホームページから利用できる「キャリアナビ・システム」を使って求人情報などを閲覧できます。エントリーシートや履歴書の書き方、面談の際の留意点などは個別指導も行なっています。また、平成20年度からは、企業で就業体験をするインターンシップ制度への積極的参加を呼び掛け、東京に「新宿サテライトオフィス」を開設して在校生・卒業生の就職支援を行うなど、より一層充実した支援体制を整えています。

本年度も厳しい不況の影響が懸念されますが、就職指導室では学生のより良い未来を切り拓く就職支援活動を強化していきます。



## ◆◆◆ 卒業式 ◆◆◆

平成21年3月21日(土)に日本武道館で平成20年度帝京大学グループ卒業式が挙行政され、本学から501名が学舎を巣立ちました。みなさんの明るく輝く未来で活躍されることを期待しています。



## ◆◆◆ 入学式 ◆◆◆

平成21年4月4日(土)に日本武道館で平成21年度帝京大学グループ入学式が行われました。本学では、527名の新入生を迎え、たくさんの保護者の方と共に、新たなスタートを迎えることができました。





# ◆◆平成22年4月開設 千住キャンパス◆◆

広報室 室長 ● 三枝 邦男

平成22年4月に千住キャンパスが開設されます。本学は平成2年4月に西東京科学大学として開設されて以来、山梨県上野原市に立地してきましたが、東京の交通の要所のひとつである足立区北千住に進出します。千住キャンパスでは、医療科学部に東京理学療法学科と東京柔道整復学科、こども学部 to 児童教育学科、の合計3学科が新たに開設されます。また、生命環境学部のアニマルサイエンス学科、自然環境学科、生命科学科はダブルキャンパス体制で臨みます。



### 〈交通案内〉

常磐線、つくばエクスプレス、東武伊勢崎線、東京メトロ千代田線・日比谷線の北千住駅より徒歩15分、もしくはバス5分（千住桜木下車）

## キャンパスの立地

北千住は駅からのびるショッピングモールやオフィス街が日光街道や墨堤通りと交差する都市型地域ですが、隅田川や荒川と共に暮らしてきた下町人情あふれる街でもあります。大学までの通りはどこも清潔に掃除がなされ、住民の手による草花が美しく咲き誇り、緑化された歩道には子どもたちの声があふれています。人々が集まる場所はシンボルデザインで演出され、隅田川に架かる尾竹橋も美しくデザインされていて川面の美しさを満喫できるように工夫がなされています。これから進む護岸緑化工事とともにさらに快適なキャンパスになります。



北千住駅からのびる  
ショッピングモール



大学向いの幼稚園前には  
大きな樹がいっぱい



所々に祠がある



尾竹橋から町屋方面を望む



バス通りには樹と花がいっぱい



## ◆◆◆ 新任教員の紹介 ◆◆◆



藤永 徹

アニマル  
サイエンス  
学科/教授



大辻 一也

アニマル  
サイエンス  
学科/教授



森 恭一

アニマル  
サイエンス  
学科/准教授



島田 将喜

アニマル  
サイエンス  
学科/講師



小野澤 昭雄

柔道整復学科/  
教授・学科長  
柔道整復師



安川 五生

柔道整復学科/  
講師  
柔道整復師



市ヶ谷 武生

柔道整復学科/  
講師  
柔道整復師



田中 三久

柔道整復学科/  
講師  
柔道整復師



本間 信雄

作業療法  
学科/教授



三尾 真琴

教職課程  
担当/教授



川田 裕樹

スポーツ科目  
担当/助教



小池 和男

新学部設置  
準備室/教授



濱野 佐代子

新学部設置  
準備室/准教授

## ◆◆◆ 退任教員の紹介 ◆◆◆

近藤 矩朗

生命環境学部  
生命科学科/教授

村上 雄

生命環境学部  
環境科学科/教授

高橋 英司

生命環境学部  
アニマルサイエンス学科/教授

本好 茂一

生命環境学部  
アニマルサイエンス学科/教授

伊澤 紘生

生命環境学部  
アニマルサイエンス学科/教授

今野 喜清

教職課程/教授

長谷川 宏幸

生命環境学部  
生命科学科/教授



2009  
年度

帝 京 科 学 大 学

公 開 講 座

受講料無料

テーマ：パソコン講座「メディア・リテラシー」 時間／13時30分～16時00分

回	開催日	会 場	講座内容	講 師
1	10/3 (土)	本学 本館3階 第1MM教室	初級講座 ワープロソフトと インターネットの 基礎	生命環境学部教授 小林 和生
2	10/10 (土)	本学 本館3階 第1MM教室	初級講座 表計算ソフトの 基礎	生命環境学部教授 小林 和生
3	10/17 (土)	本学 本館3階 第1MM教室	中級講座 情報検索・ 情報運用	生命環境学部准教授 斉藤 幸喜
4	10/24 (土)	本学 本館3階 第1MM教室	中級講座 数値分析	生命環境学部准教授 斉藤 幸喜

..... お申込み・お問合せ .....

帝京科学大学 総務課 TEL：0554-63-6911

### ◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

来年度から東京・千住に新キャンパスを開設します。「新しい酒は新しい革袋に盛れ」という諺がありますように、旧弊を断ち切り、全教職員が知恵を出し合い、協力して、大学教育に対する責務を果たしていくことが、東京へ進出した本学の今後の大いなる発展の礎になると思います。

渡邊 記

発行人：帝京科学大学（TUST）学長 冲永 莊 八  
〒409-0193 山梨県上野原市八ツ沢2525  
TEL：0554-63-4411(代表) FAX：0554-63-4430  
帝京科学大学ホームページ URL：<http://www.ntu.ac.jp/>  
E-mail：[tustnews@ntu.ac.jp](mailto:tustnews@ntu.ac.jp)  
※ご意見、ご要望をお寄せ下さい。



EMSシンボルマーク